



東広島・呉自動車道阿賀 IC 立体化が3月19日に完成します

国道375号東広島・呉自動車道の阿賀IC立体化（阿賀中央5丁目 延長0.9km）につきまして、国土交通省中国地方整備局から、令和4年3月19日に完成すると発表されました。

詳細は、国土交通省のホームページをご覧ください。

https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/p_release/pdf/2021press/220121press.pdf

【新原呉市長のコメント】

本日、東広島・呉自動車道阿賀IC立体化の完成日が3月19日（土）となることが発表されました。

東広島・呉自動車道は、呉市と東広島市はじめ、山陽自動車道、広島空港、山陽新幹線東広島駅などとのアクセス性を高める、極めて重要な道路として地域経済・社会・文化活動を支えています。

一方で、国道185号と接続する先小倉交差点では、慢性的な交通渋滞が発生し、交通事故も多発しておりました。

阿賀IC立体化の開通により、渋滞の緩和や事故防止に繋がり、物流・人流が効率化されます。

現在呉市には、多くの課題がある中で、新しい時代にふさわしいスマートシティ「くれ」を目指して、様々な取組を進めています。今回の先小倉交差点の立体交差の完成は、そのための大事な一歩を進めるものです。

呉市内の企業や市民にとって大きなチャンスとなるものと期待しています。

コロナで影響を受ける中、完成に向けて御尽力・御支援いただいた関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。